

橋本忍、鈴木清順、津川雅彦ら70人超の映画人を偲ぶ追悼上映企画

「逝ける映画人を偲んで2017-2018」開催のお知らせ

2019年6月29日(土)－9月1日(日)*月曜休館

いつもお世話になっております。

国立映画アーカイブでは、日本映画の輝かしい歴史を築き、惜しまれながら逝去された映画人の方々を、それぞれの代表的作品を上映することで追悼する企画「逝ける映画人を偲んで」を2年ぶりに開催します。この2年のうちにも、日本映画は多くのかけがえのない人々を失いました。

今回の特集では、2017年1月1日から2018年12月31日の間に逝去された方々を取り上げ、木下忠司、橋本忍、鈴木清順、沢島忠、松本俊夫、津川雅彦の各氏をはじめ、監督、俳優、脚本家、撮影・照明・音楽・美術を手掛けたスタッフなど、合計70名以上の映画人の業績を、作品の上映を通して、回顧・顕彰します。

会期中は、劇映画、ドキュメンタリー、特撮映画、成人映画、PR映画、アニメーションなどさまざまなジャンルの全62作品を55プログラムに組んで上映します。また、2018年に東映所蔵オリジナルネガを4Kスキャン・修復して作製した『白蛇伝』[デジタル復元版]の4KDCP世界初上映(7/21(日)13:00～、8/20(火)15:00～)や、公開当時に限りなく近い色彩を再現した『お葬式』[再タイミング版]の初上映(7/13(土)16:00～、8/27(火)19:00～)も予定しております。

縁の方々、そして映画ファンの皆様にも広くお知らせしたく、ぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

【本特集で追悼する方々と上映作品】(五十音順) *印は成人指定作品です。当該の上映回に女性専用席を設けます。

青木利郎(特撮美術) 『メカゴジラの逆襲』(1975)

赤木春恵(俳優) 『家光と彦左と一心太助』(1961)、『ペコロスの母に会いに行く』(2013)

秋山道男(俳優・製作) 『ゆけゆけ二度目の処女』(1969) *

浅井良二(製作) 『コント55号と水前寺清子の神様の恋人』(1968)

朝丘雪路(俳優) 『嵐を呼ぶ楽団』(1960)、『バナナ』(1960)、『ホーホケキョ とよりの山田くん』(1999)

麻生美代子(俳優) 『私は猫ストーカー』(2009)

生田悦子(俳優) 『爽春』(1968)、『コント55号と水前寺清子の神様の恋人』(1968)

石橋雅史(俳優) 『華麗なる追跡』(1975)

出光元(俳優) 『NAGISA なぎさ』(2000)

井上堯之(音楽) 『青春の蹉跎』(1974)

上原明(撮影) 『燃えつきた地図 THE MAN WITHOUT A MAP』(1968)

江波杏子(俳優) 『女の賭場』(1966)

大杉漣(俳優) 『弾丸ランナー』(1996)、『犬走る DOG RACE』(1998)

大谷巖(録音) 『近松物語』(1954)

大前亘(俳優) 『ガス人間オ1号』(1960)、『狙撃』(1968)、『ゴジラ対ヘドラ』(1971)

小川寛興(音楽) 『さよならはダンスの後に』(1965)

小野竜之助(脚本) 『実録三億円事件 時効成立』(1975)

貝山知弘(製作) 『狙撃』(1968)

加藤剛(俳優) 『上意討ち 拝領妻始末』(1967)、『影の車』(1970)

梶島義夫(アニメーター) 『天までとどけ』(1979)

川地民夫(俳優) 『海は狂っている』(1959)、『すべてが狂っている』(1960)

樹木希林(俳優) 『コント55号と水前寺清子の神様の恋人』(1968)、『ピストルオペラ』(2001)

木下忠司(音楽) 『白蛇伝』[デジタル復元版] (1958)、『泣いてたまるか 定期便の源さん』(1971)、『天までとどけ』(1979)

日下武史(俳優) 『西陣』(1961)

黒澤満(製作) 『犬走る DOG RACE』(1998)

上月左知子(俳優) 『青春の蹉跎』(1974)

神山繁(俳優) 『バナナ』(1960)、『上意討ち 拝領妻始末』(1967)、『脱獄・広島殺人囚』(1974)



『ペコロスの母に会いに行く』
 ©『ペコロスの母に会いに行く』製作委員会



『爽春』



『女の賭場』



『ガス人間オ1号』



『海は狂っている』

- 小杉武久(音楽) 『脳と漬瘍』(1971)
 小松範任(監督) 『あなたはシルック』(1968)
 佐伯孚治(監督) 『どろ犬』(1964)
 沢島忠(監督) 『家光と彦左と一心太助』(1961)、『女の花道』(1971)
 ジミー土田(俳優) 『未亡人セックス 一熱れ盛り』* (1992)
 深水三章(俳優) 『NAGISA なぎさ』(2000)
 菅井きん(俳優) 『若い狼』(1961)、『南の風と波』(1961)、『お葬式』[再タイミング版](1984)
 鈴木清順(監督) 『すべてが狂ってる』(1960)、『ピストルオペラ』(2001)
 高木隆太郎(製作) 『日本妖怪伝 サトリ』(1973)
 高島利雄(照明) 『ガス人間オ1号』(1960)、『メカゴジラの逆襲』(1975)
 高畑勲(監督) 『ホーホケキョ となりの山田くん』(1999)
 たむらまさき [田村正毅] (撮影) 『三里塚 第二砦の人々』(1971)、『日本妖怪伝 サトリ』(1973)、『私は猫ストーリー』(2009)
 津川雅彦(俳優・監督) 『バナナ』(1960)、『お葬式』[再タイミング版](1984)、『0.5ミリ』(2014)
 月丘夢路(俳優) 『新雪』(1942)、『告白的女優論』(1971)
 土屋嘉男(俳優) 『ガス人間オ1号』(1960)
 角替和枝(俳優) 『0.5ミリ』(2014)
 中島春雄(俳優) 『ゴジラ対ヘドラ』(1971)
 永田秀雅(製作) 『処刑の部屋』(1956)
 中村州志 [中村修一郎] (美術) 『どろ犬』(1964)
 中村雅哉(製作) 『弾丸ランナー』(1996)
 夏木陽介(俳優) 『若い狼』(1961)、『南の風と波』(1961)
 名和宏(俳優) 『脱獄・広島殺人囚』(1974)
 西村昭五郎(監督) 『団地妻 屋下りの情事』(1971)*、『団地妻 ニュータウン禁猟区』(1984)*
 橋本忍(脚本・監督) 『南の風と波』(1961)、『上意討ち 拝領妻始末』(1967)、『影の車』(1970)
 蓮実重臣(音楽) 『私は猫ストーリー』(2009)
 長谷川元吉(撮影) 『告白的女優論』(1971)
 半沢浩(製作) 『NAGISA なぎさ』(2000)
 坂野義光(監督) 『ゴジラ対ヘドラ』(1971)
 藤原智子(監督) 『伝説の舞姫・崔承喜 金梅子が追う民族の心』(2000)
 古川卓己(監督) 『海は狂っている』(1959)
 星由里子(俳優) 『若い狼』(1961)、『南の風と波』(1961)
 穂積隆信(俳優) 『すべてが狂ってる』(1960)、『さよならはダンスの後に』(1965)、『ペコロスの母に会いに行く』(2013)
 堀禎一(監督) 『宙ぶらりん』(2003)*
 前田憲男(音楽) 『すべてが狂ってる』(1960)
 松方弘樹(俳優) 『脱獄・広島殺人囚』(1974)
 松本俊夫(監督) 『西陣』(1961)、『コミュニティ・ライブ』(1972)、『十六歳の戦争』(1976)、『気 KI or BREATHING』(1980)
 真理明美(俳優) 『モンローのような女』(1964)
 三上真一郎(俳優) 『乾いた湖』(1960)、『モンローのような女』(1964)
 宮崎晃(脚本・監督) 『泣いてたまるか 定期便の源さん』(1971)
 八並映子(俳優) 『高校生番長 深夜放送』(1970)
 山本駿(撮影) 『アリサ ヒトから人間への記録』(1986)
 横尾嘉良(美術) 『宵待草』(1974)
 吉田貞次(撮影) 『十一人の侍』(1967)
 吉田剛(脚本・監督) 『コント55号と水前寺清子の神様の恋人』(1968)
 米田実(撮影) 『女高生 夏ひらく唇』(1980)*
 渡瀬恒彦(俳優) 『鉄砲玉の美学』(1973)、『脱獄・広島殺人囚』(1974)



『ホーホケキョ となりの山田くん』



『バナナ』



『南の風と波』



『新雪』



『脱獄・広島殺人囚』



『高校生番長 深夜放送』



『鉄砲玉の美学』

■開催概要

【企画名】逝ける映画人を偲んで 2017-2018 / In Memory of Film Figures We Lost in 2017-2018

【会期】2019年6月29日(土) - 9月1日(日) *月曜休館

【会場】国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU (2階)

【料金】一般 520円 / 高校・大学生・シニア 310円 / 小・中学生 100円 / 障害者 (付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

*6月15日(土) 10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。【Pコード: 550-012】

【お問い合わせ】03-5777-8600 (ハローダイヤル) 【ホームページ】<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/yukeru201906/>

[広報画像や特集詳細に関するお問合せ](#)

国立映画アーカイブ上映展示室 白鳥・玉田・大澤・岡田 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 MAIL:pr@nfaj.go.jp